

特措法制定をリード

口蹄疫対策 東 順治 党対策本部長に聞く

宮崎県下で猛威を振るう家畜伝染病・口蹄疫への緊急対策を実施する「口蹄疫対策特別措置法」が28日の参院本会議で成立しました。口蹄疫問題をめぐる公明党の取り組みなどについて、党口蹄疫対策本部の東順治本部長(副代表)に聞きました。

——口蹄疫問題に対し、公明党はどのように対応しましたか。

東対策本部長 速やかに口蹄疫対策本部を立ち上げる一方、地元にも宮崎県本部の対策本部を置き、相

談電話「口蹄疫」10番一で畜産農家や関係者の切実な声を聞きながら、県下の地方議員と一丸となって対応してきました。

知事から「現行の家畜伝染病予防法では対応できない。全面的に国が手を打ってほしい」と陳情を受けるとともに、被害が甚大な川南町、隣接する高鍋町の両町長らから実

情を聴取しました。12日には首相官邸と農水省へ行き、国が前面に出る口蹄疫問題に対処するため、1000億円規模の緊急対策予算を確保するよう要請。それが被害農家に力を与えるメッセージにもなることを信し、委員会質疑でも重ねて強く求めました。

公明党は特別措置法案を提出、28日成立をリードしました。東政府の反応があまりにも鈍いため、公明党は議員立法化を判断しました。検討の場に地元の

の主張で1000億円規模の予算を確保できたこと、補償金を被害農家の皆さんの手元にいち早く届けられるよう、申請を待たずに仮払いできる規定を設けたことです。これは、紛れもなく私たちが公明党の粘り強い闘いが結実したものです。公明党の地方議員と国会議員のネットワークが現場

現場の声を基に迅速対応

公明の国・地方議員が連携 100億円の予算確保も

——公明党は特別措置法案を提出、28日成立をリードしました。

東政府の反応があまりにも鈍いため、公明党は議員立法化を判断しました。検討の場に地元の

の主張で1000億円規模の予算を確保できたこと、補償金を被害農家の皆さんの手元にいち早く届けられるよう、申請を待たずに仮払いできる規定を設けたことです。

これは、紛れもなく私たちが公明党の粘り強い闘いが結実したものです。公明党の地方議員と国会議員のネットワークが現場

の悲鳴な叫びを受け止め、成し遂げた成果です。

——一方で政府の初動の遅れが厳しく批判されています。

東 4月20日の一例目の確認から、政府の対応は明らかに後手後手に回りました。韓国でも口蹄疫が発生し、地元では3月末から家畜の異変が確認されていたにもかかわらず、刻き目のある消毒

の遅れが厳しく批判されています。

東 4月20日の一例目の確認から、政府の対応は明らかに後手後手に回りました。韓国でも口蹄疫が発生し、地元では3月末から家畜の異変が確認されていたにもかかわらず、刻き目のある消毒

の遅れが厳しく批判されています。

東 一刻も早く終息宣言を出せるよう、特措法のスムーズな執行とともに、あらゆる手を打っていきます。被害農家や関連業者の生活や事業の再建、家族同然の牛や豚を失った被害農家の家族らの心のケアなども全力を挙げます。

さうして今回の教訓として、私は危機管理庁の創設などが必要はないかと思っています。地震やパンデミック(感染爆発)などの緊急事態が起きた時、国が対応できる体制づくりを急ぎます。



東順治本部長(副代表)に聞きました。

東 一刻も早く終息宣言を出せるよう、特措法のスムーズな執行とともに、あらゆる手を打っていきます。被害農家や関連業者の生活や事業の再建、家族同然の牛や豚を失った被害農家の家族らの心のケアなども全力を挙げます。

さうして今回の教訓として、私は危機管理庁の創設などが必要はないかと思っています。地震やパンデミック(感染爆発)などの緊急事態が起きた時、国が対応できる体制づくりを急ぎます。

東 一刻も早く終息宣言を出せるよう、特措法のスムーズな執行とともに、あらゆる手を打っていきます。被害農家や関連業者の生活や事業の再建、家族同然の牛や豚を失った被害農家の家族らの心のケアなども全力を挙げます。

さうして今回の教訓として、私は危機管理庁の創設などが必要はないかと思っています。地震やパンデミック(感染爆発)などの緊急事態が起きた時、国が対応できる体制づくりを急ぎます。

特措法の骨子

- ◆必要な予算は総額1000億円規模
- ◆殺処分家畜の全額補償、埋却費なども措置
- ◆補償金などは申請を待たずに仮払いできる
- ◆地域再生を支援する基金の創設、経営再建へ無利子貸付や助成
- ◆感染防止のため指定地域内で未感染家畜を予防的に殺処分できる
- ◆消毒設備の設置場所を通行する車両などの消毒を義務付け

被害が爆発的に拡大する中、鳩山首相は5月1日、熊本県水俣市に行きながらも、隣県の宮崎には足を延ばさなかった。結局、政治主導」と言いながら閣僚らの主導性が発揮されず、口蹄疫被害の拡大を招いたので。政府の遅い判断を待たずに、地元では不眠不休の対応が続いています。